

2023年2月

2023年3月期 第3四半期累計期間 (2022年4月1日～2022年12月31日) 決算説明資料

ディービーエックス株式会社



1 第3四半期の決算概況

(1) 要約損益計算書	4
(2) 売上高	5
(3) 売上総利益	10
(4) 営業利益	12
(5) 四半期純利益	14
(6) 要約貸借対照表	15

2 2023年3月期の見通し

(1) 2023年3月期の取り組み	17
(2) 業績予想（売上高）	18
(3) 業績予想（営業利益）	19
(4) 業績予想（当期純利益）	19
(5) 進捗率	20
(6) 配当予想	21

1 第3四半期の決算概況

要約損益計算書（第3四半期累計期間）



	実績 (百万円)	対売上高 (%)	前年同期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	35,535	100.0	34,001	+4.5
売上総利益	3,996	11.2	3,928	+1.7
販管費	3,048	8.6	2,987	+2.0
営業利益	947	2.7	940	+0.7
経常利益	958	2.7	944	+1.6
四半期純利益	652	1.8	649	+0.5

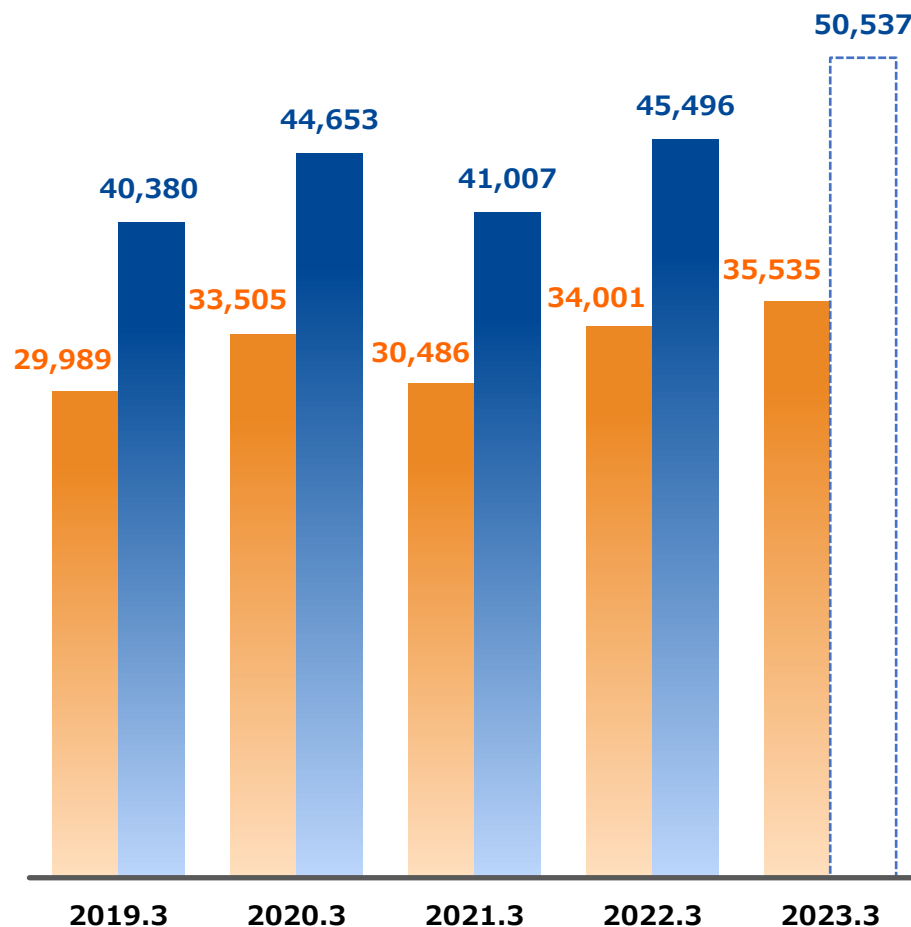
売上高 355.3億円

前年同期比 4.5%増 

	実績（百万円）	増減率（%）
不整脈	30,465	+3.3
虚血	2,425	+4.6
その他	2,644	+21.4
合計	35,535	+4.5

■ 第3四半期 ■ 通期

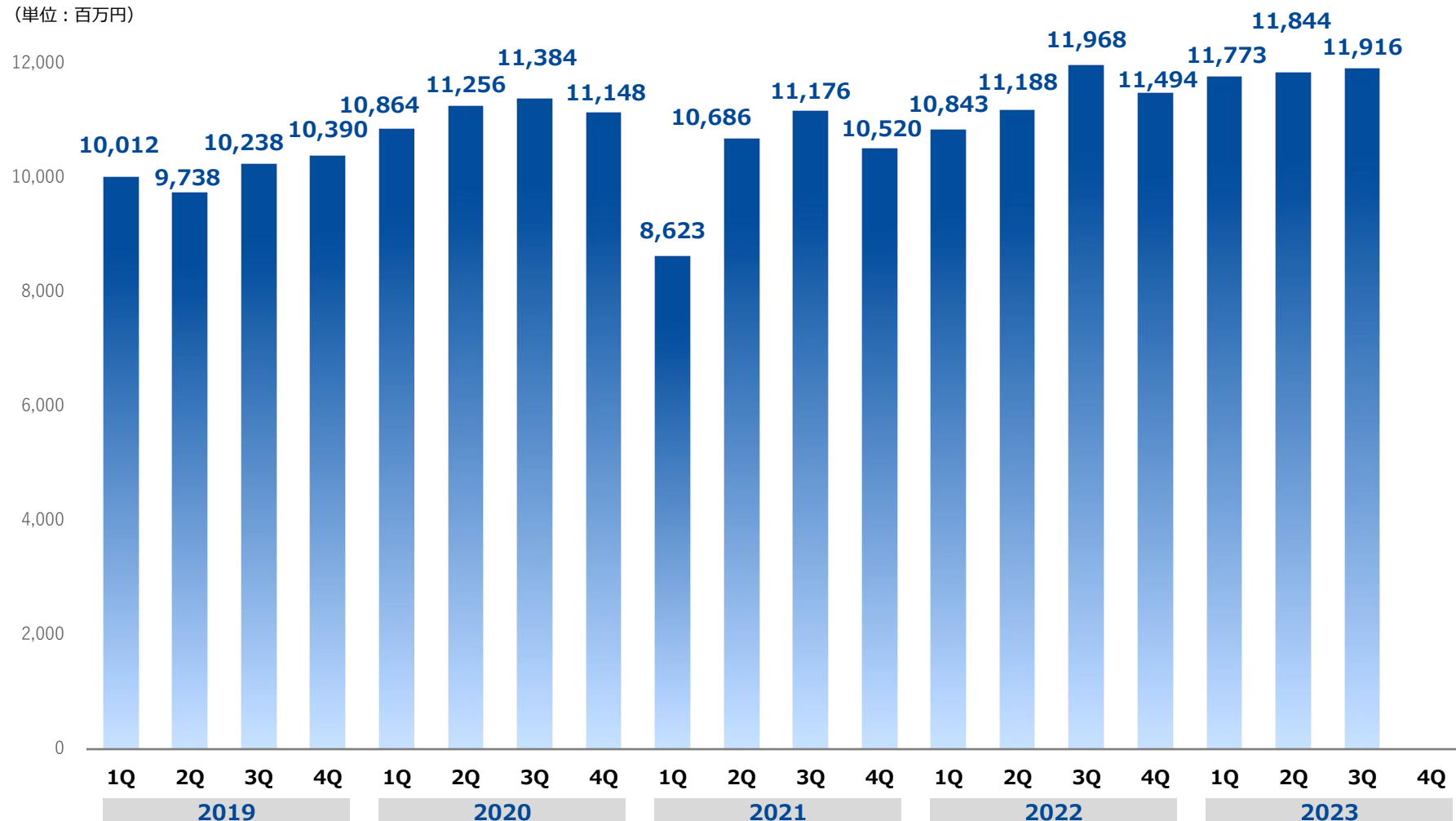
（単位：百万円）



四半期売上高の推移



(単位：百万円)



売上高 304.6億円

前年同期比

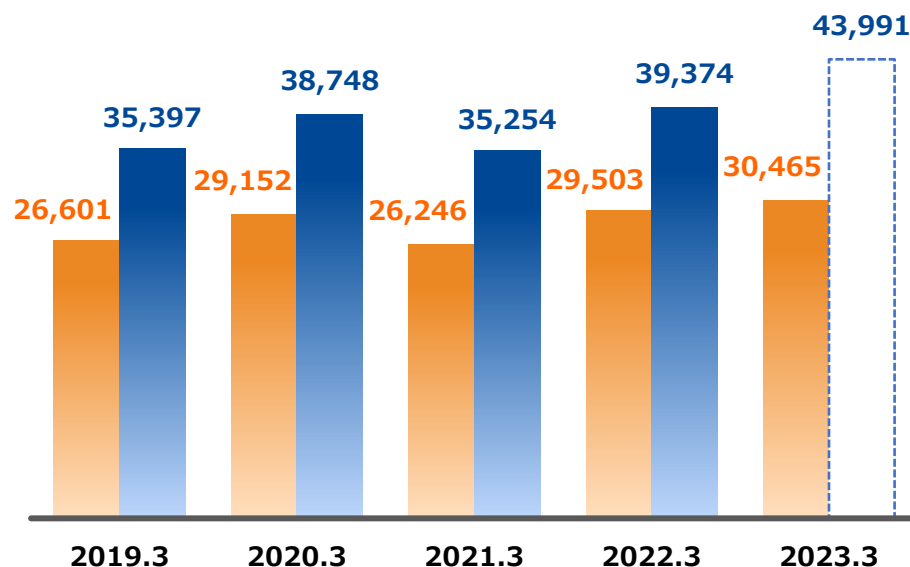
3.3%増 

- 医療現場の安定、症例数の回復
- 好調：ICD

(単位：百万円)

■ 第3四半期

■ 通期



	実績 (百万円)	前年同期 (百万円)	増減率 (%)
PM	2,962	2,956	+0.2
ICD	1,795	1,594	+12.6
CRT-D	1,483	1,444	+2.7
電極カテーテル	8,693	8,366	+3.9
心腔内エコーカテ	3,115	2,929	+6.3
ABL機能付カテ	4,770	4,719	+1.1
ABLカテーテル	303	340	△11.1
冷凍ABLカテ	1,844	1,764	+4.5
その他	5,495	5,388	+2.0
合計	30,465	29,503	+3.3

売上高（虚血事業）



売上高 24.2億円

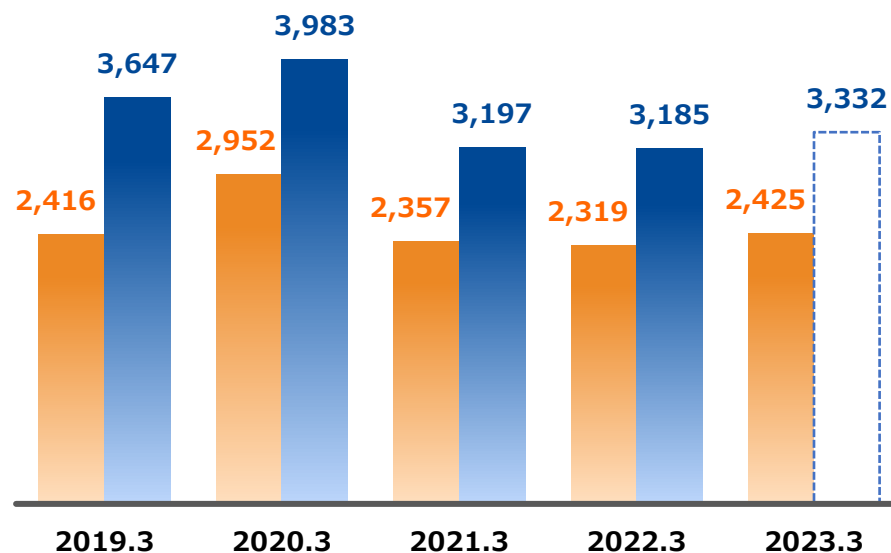
前年同期比 4.6%増 

- 医療現場の安定、症例数の回復
- RAQUOS事業の立ち上げ

(単位：百万円)

■ 第3四半期

■ 通期



	実績 (百万円)	前年同期 (百万円)	増減率 (%)
SPNC	898	851	+5.6
その他	1,527	1,468	+4.0
合計	2,425	2,319	+4.6

売上高（その他）



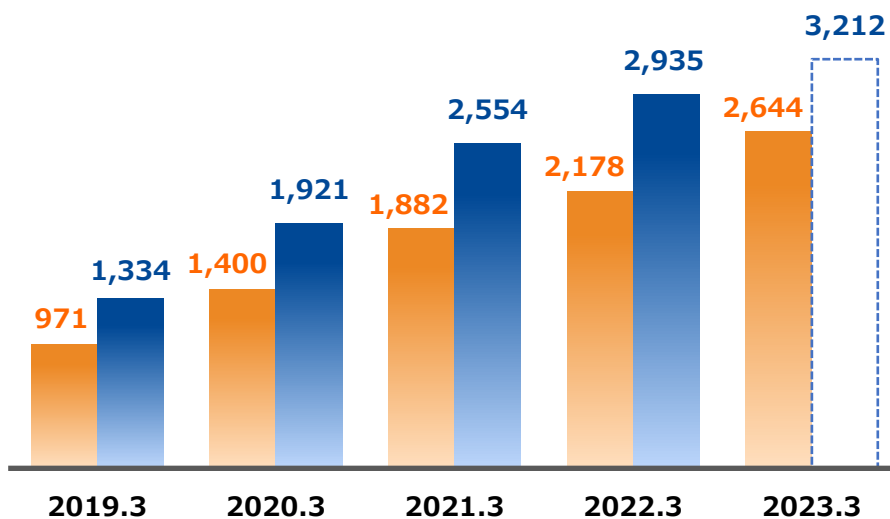
売上高 26.4億円

前年同期比 21.4%増 

- ストラクチャー：TAVIが好調
- 自社企画品が好調

(単位：百万円)

■ 第3四半期 ■ 通期



	実績 (百万円)	前年同期 (百万円)	増減率 (%)
ストラクチャー	1,078	787	+36.9
頭部腹部領域	988	894	+10.5
心臓血管外科	104	106	△2.4
外科	116	90	+28.6
その他	356	299	+18.7
合計	2,644	2,178	+21.4

売上総利益 39.9億円

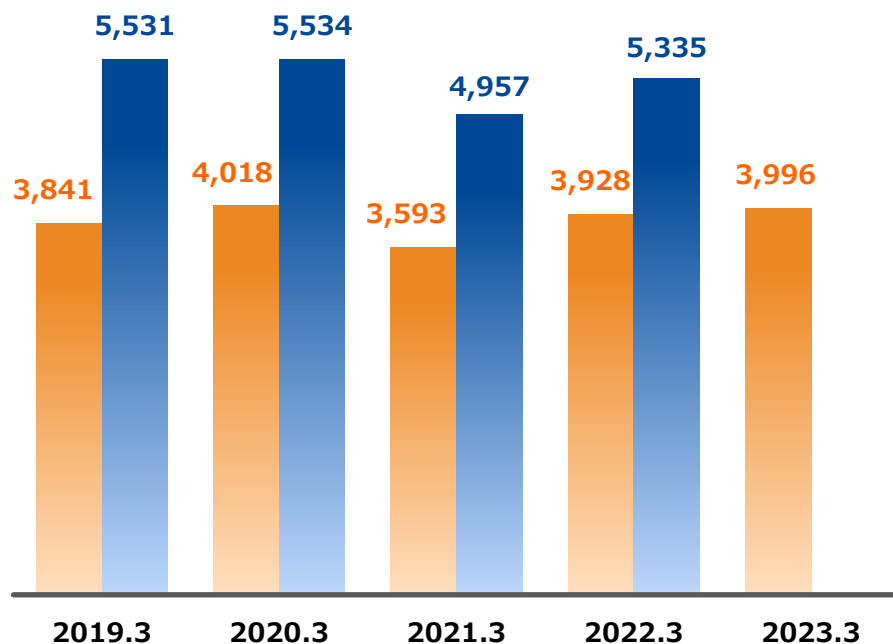
前年同期比 1.7 %増

■ 粗利率11.2%（前年同期11.6%）

（単位：百万円）

■ 第3四半期

■ 通期



	実績 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	3,413	+5.3
虚血	280	△36.1
その他	301	+22.6
合計	3,996	+1.7

売上総利益（事業別）



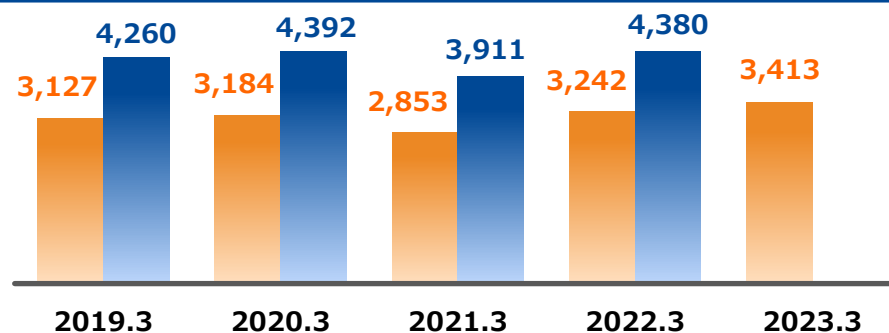
第3四半期 通期 (単位：百万円)

不整脈事業

セグメント利益 **34.1億円**

前年同期比 **5.3%増**

- 粗利率11.2%（前年同期11.0%）
- 売上高増加×粗利率上昇

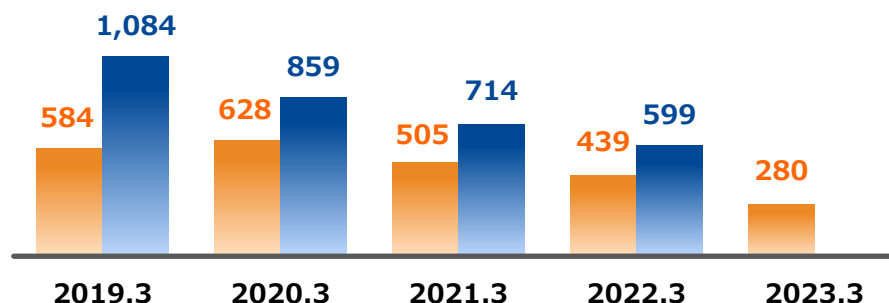


虚血事業

セグメント利益 **2.8億円**

前年同期比 **36.1%減**

- 粗利率11.6%（前年同期18.9%）
- 売上高増加×粗利率低下
- レーザー事業取引条件変更の影響（粗利率低下）

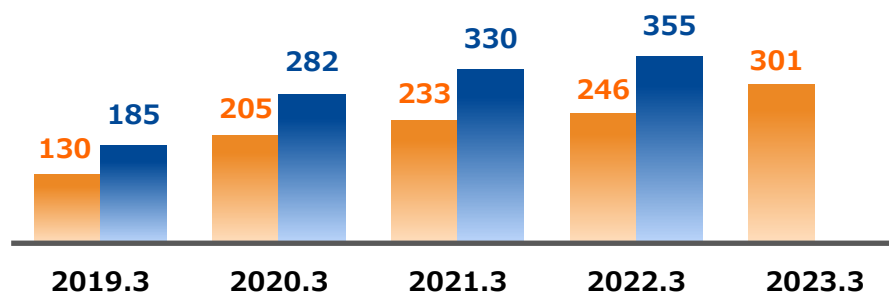


その他

セグメント利益 **3.0億円**

前年同期比 **22.6%増**

- 粗利率11.4%（前年同期11.3%）
- 売上高増加×粗利率上昇



営業利益 9.4億円

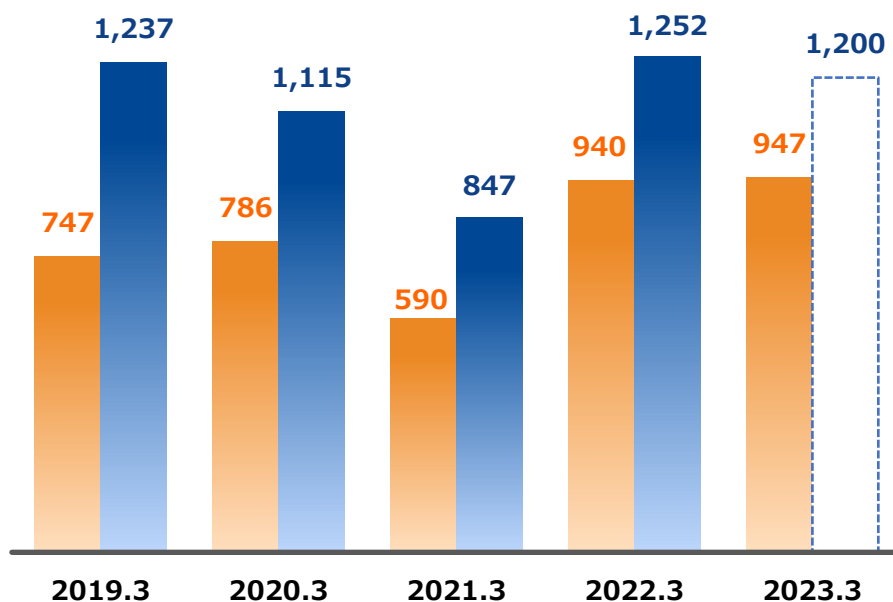
前年同期比

0.7%増

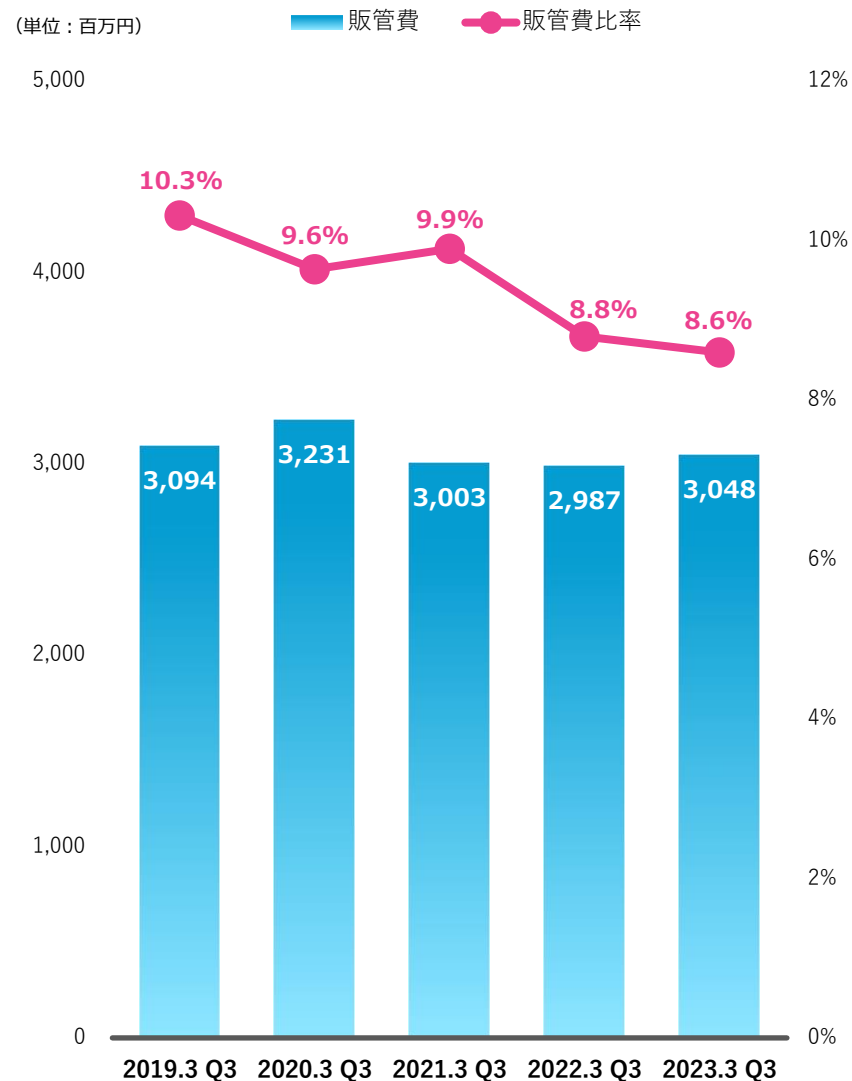


- 売上総利益 前年同期比1.7%増
- 販売管理費 前年同期比2.0%増
- 売上高営業利益率2.7%（前年同期2.8%）
- 売上高販管費比率8.6%（前年同期8.8%）

（単位：百万円） ■ 第3四半期 ■ 通期

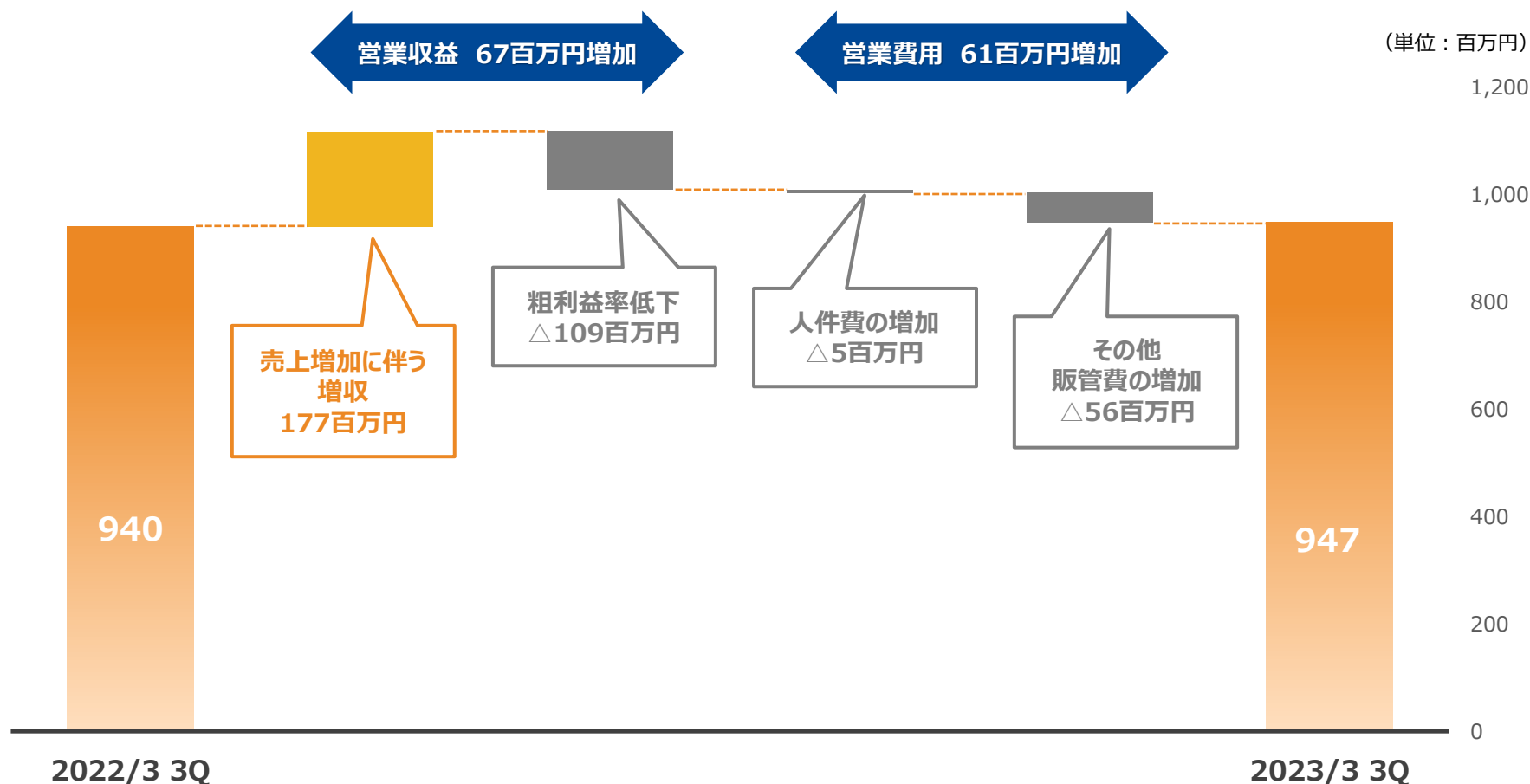


（単位：百万円）



営業利益増減分析

売上高の増加で177百万円増加、粗利率の低下で109百万円減少、
人件費増加で5百万円減少、その他販売管理費の増加で56百万円の減少



■ 第3四半期 ■ 通期

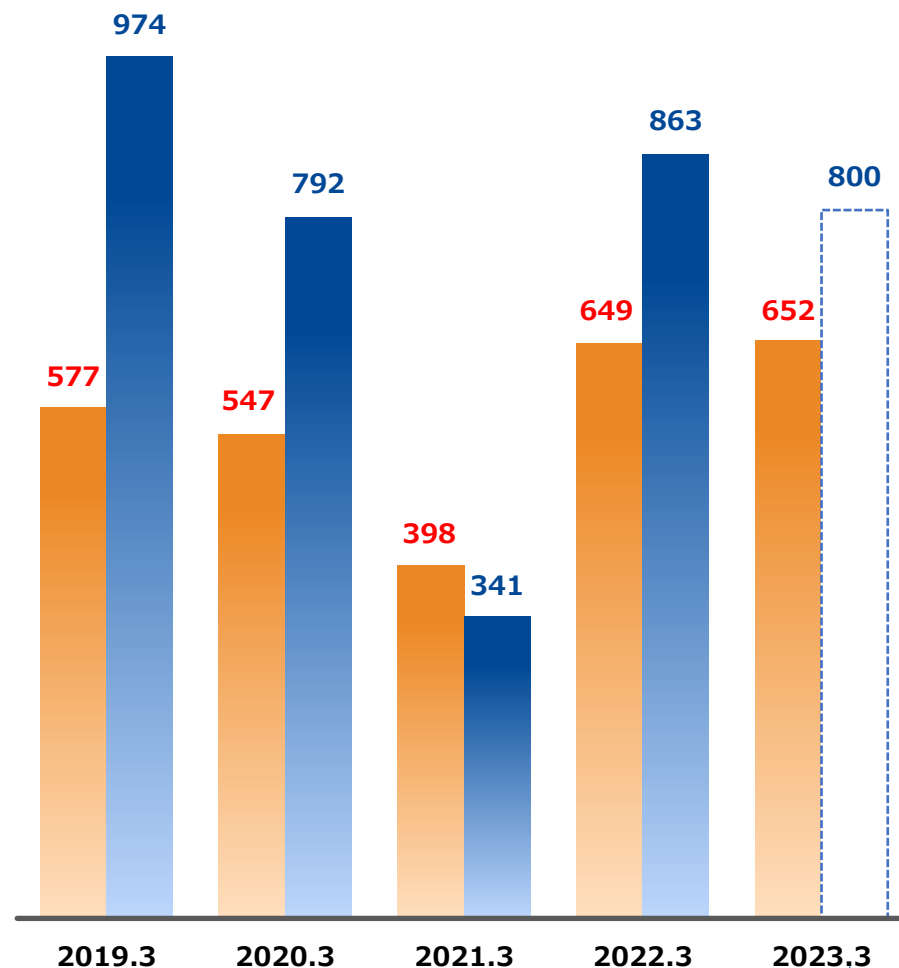
(単位：百万円)

四半期純利益 6.5億円

前年同期比 0.5%増 

(百万円)

■ 営業利益	947
■ 営業外収益	11
■ 営業外費用	0
■ 経常利益	958
■ 特別利益	0
■ 特別損失	2
■ 法人税等	304
■ 四半期純利益	652



要約貸借対照表



	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期末実績 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	22,029	94.3	20,827	+5.8	+ 現預金の増加（664百万円） + 電子記録債権の増加（68百万円） + 商品の増加（490百万円）
固定資産	1,319	5.7	1,383	△4.6	▲ 有形固定資産の減少（73百万円）
資産合計	23,348	100.0	22,210	+5.1	
流動負債	13,818	59.2	13,140	+5.2	+ 買掛金の増加（941百万円） ▲ 未払法人税等の減少（216百万円） ▲ 賞与引当金の減少（161百万円）
固定負債	510	2.2	482	+5.8	+ 退職給付引当金の増加（34百万円）
負債合計	14,329	61.4	13,623	+5.2	
純資産	9,019	38.6	8,587	+5.0	+ 利益剰余金の増加（392百万円） + 自己株式の減少（39百万円）
負債純資産合計	23,348	100.0	22,210	+5.1	

2 2023年3月期の見通し

I 売上シェアの拡大

- 施設拡大（新規、取引消失先、大学病院、ABL立ち上げ施設、海外）
- 品目拡大（未取扱メーカーの商流獲得、新規商品の開発と導入）

施設

品目

II 粗利率の改善

- 対仕入先メーカー（価格交渉、ターゲット施設・戦略商品における協働）
- 高利益率商品・大型機器・自社企画商品の売上の拡販
- RAQUOSによる総代理店事業売上・粗利の回復

仕入

高利益率
商品

III 営業利益の確保

- コスト削減（費用対効果、時間コスト、選択と集中）
- 事業単位ごとの営業利益の確保

費用対
効果

選択と
集中

（単位：百万円）

売上高 505.3億円

前期比

11.1%増

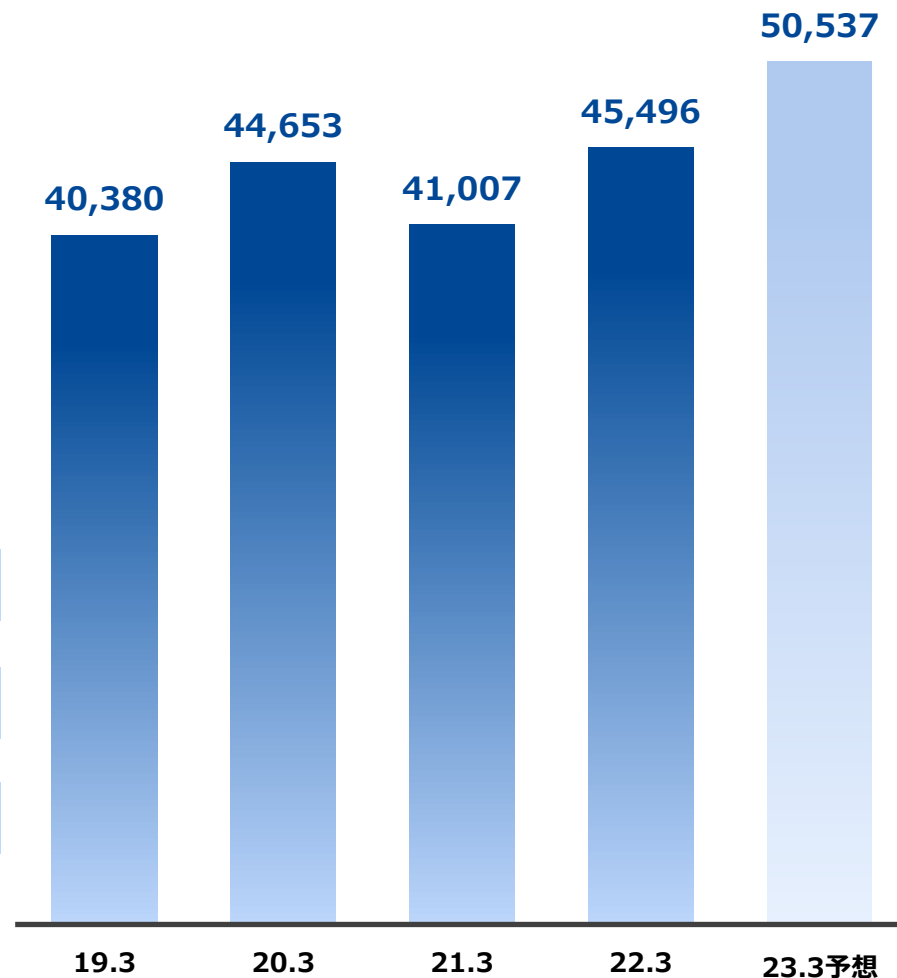


- 新型コロナウイルス感染症による影響の解消を見込む
- 施設拡大、品目拡大による売上増加を見込む

不整脈事業 43,991百万円 11.7%増

虚血事業 3,332百万円 4.6%増

その他事業 3,212百万円 9.4%増



業績予想（営業利益、当期純利益）

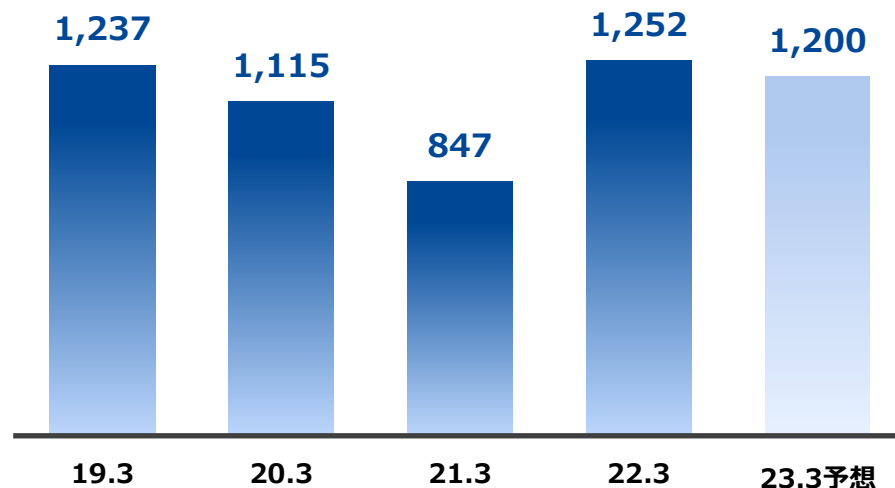


（単位：百万円）

営業利益 12.0億円

前期比 4.2%減

- 売上高の増加（営業利益増加要因）
- 粗利率の低下（営業利益減少要因）

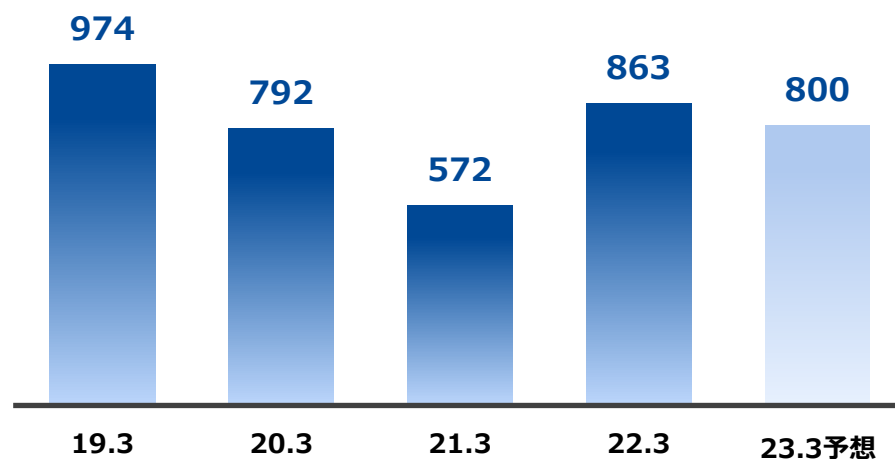


当期純利益 8.0億円

前期比 7.2%減

予想EPS 77円20銭

前期実績 83円56銭



(単位：百万円)

	通期 (計画)	当第3四半期 累計 (実績)	進捗率 (対通期計画)
売上高	50,537	35,535	70.3%
営業利益	1,200	947	78.9%
経常利益	1,200	958	79.9%
当期純利益	800	652	81.5%

期末配当金 **25.0円**

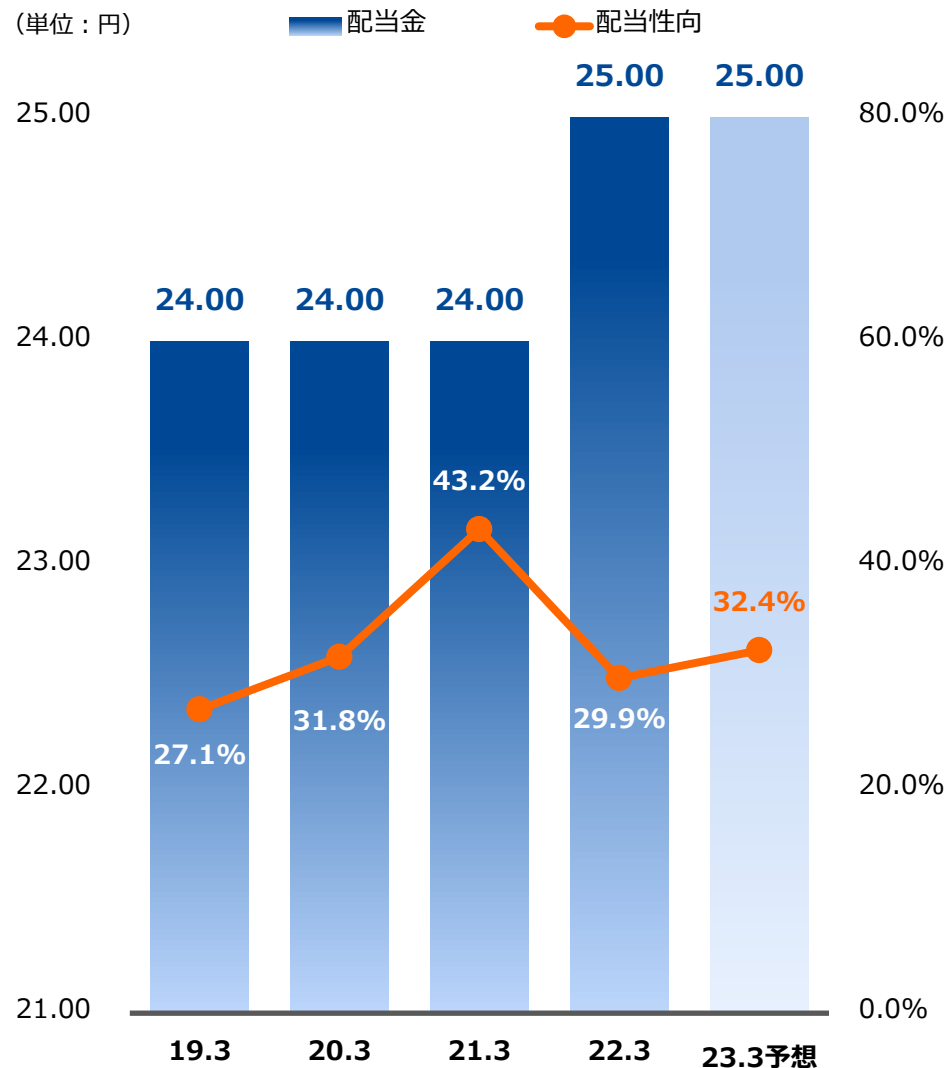
2022年3月期 **25.0円**

配当性向 **32.4%**

2022年3月期 **29.9%**

配当方針の継続

- 継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本として配当を決定する





生命と健康を守る

Development
Venture

X (無限の可能性)

IRについてのお問い合わせ先 財務経理部

TEL : 03-5985-6832 E-Mail : ir_form@dvx.jp URL : <https://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。